

## 地域活動（各教科等を合わせた指導）活動案

日 時	令和3年6月30日（水）10：30～11：40
場 所	小学部ホール・北美原公園・前庭・学校図書館 （雨天：体育館・プレイルーム・学校図書館）
児 童	小学部 1組（1・2学年）6名（男子4名，女子2名） 2組（3・4学年）5名（男子3名，女子2名） 3組（5・6学年）6名（男子4名，女子2名） 男子11名 女子6名 計17名
教 諭	金木 彩子 中村 耕太郎 辻 洋子 能登 祐聡 他5名

### 1. 単元について

#### (1) 単元名「『やりたい!』みつげ隊」

#### (2) 児童の実態

本校小学部は1組6名，2組5名，3組6名の計17名で構成されている。予定や活動の理解については，写真や絵，文字を用いて提示することで，見通しをもち，落ち着いて活動に取り組むことができるようになってきている児童が多い。

1組の児童について，人とのかかわりは教師とのかかわりがほとんどであるが，共通の玩具を使って遊ぶ場を教師が設定することで，自分から友達に近付いたり，場を共有しながら活動したりすることが少しずつ増えてきている。学校生活にも慣れ始め，遊具遊びや学校図書館の利用などを楽しんでいる。

2組の児童について，コミュニケーションは言葉やクレーン行動，サイン，場面によっては絵カードを用いている。人とのかかわりは，教師とかわり方を学習しながら，友達とのかかわりも少しずつ見られてきている段階である。校内施設での遊びや地域での活動経験を基に，気に入った遊びを選び，繰り返し楽しむ様子が見られる。

3組の児童について，コミュニケーションは，簡単な言語指示を理解することができ，簡単な言葉で要求を伝えたり，絵カードや文字で伝えたりしている。地域活動の経験を重ねているが，やりたい遊びや行きたい場所を聞くとすぐに答えられなかったり，「わからない」と戸惑ったりするなど，自分の気持ちや思いを表出したり，他者に伝えたりすることに課題が見られる児童もいた。

#### (3) 単元で取り扱う題材について

地域活動では，公園や公共施設など地域の様々な施設で，自然や環境を生かした遊びを経験してほしいという願いから，教師が児童にとって適切と考えた活動や目的地を決めて計画し実施していた。高学年の児童については，前年度バスに乗って，公共施設や商業施設に出かける経験もしている。

本年度も，教師が行き先を決定して，校内施設を活用したり地域の複数の公園へ出かけたりして遊ぶ経験をしてきた。しかし，児童がより主体的に活動し，将来自ら望んだ活動や遊びを求めて地域に出かけたり参加したりする資質・能力を育むためには，児童自らが意欲や自信をもって，遊びや行き先を考え，選び，充実した遊びや学びを展開する必要があると考えた。

本単元は，児童が，今まで遊びに出かけた地域の公共施設や校内施設の中から，好きな遊びや場所を選び，行き先を決定して自分で行きたいところに行って遊ぶ学習である。

設定の理由として，

- ①自分が望む遊びや行きたい場所を選択するために，他者に自分の思いや要求を伝えたり，表現したりする。
- ②自分で遊びや場所を選択し，行き先を決定して遊ぶことを通して，達成感や自己肯定感を高める。
- ③同じ目的や場を選択した仲間とかわり合いながら，遊びを深めることも期待したい。
- ④好きな遊びができる場や地域に関心・愛着をもつなど，主体的な活動を引き出すことができると考

えた。設定された複数の遊びや場所の中から、自ら選択することをきっかけに、主体的な活動を導き出すことは、本校の小学部における資質・能力を育むことに繋がると考える。児童が校内施設や地域の複数の公園へ行く経験を重ねた中から、自ら「好きな遊びをしたい」という目的をもち、その場所で楽しく活動する授業を展開したい。

#### (4) 資質・能力との関連及び教師の指導観

本校小学部段階における地域活動のねらいは、「地域生活の資源を実際に活用した学習を通して、簡単なきまりやルールを守りながら遊んだり活動したりして楽しむ態度を育てることや、目的地まで歩く経験を積んだり、交通機関の利用を経験したりし、社会参加への基礎的な能力と態度を育むこと」である。本単元で身に付けた自己選択や自己決定に繋がる資質・能力を、実際に地域の公共施設である公園や児童館、図書館などを利用する際に活用してほしいと考える。

年間を通して、好きな遊びを選択することに取り組むことで、児童は「楽しい遊びを広げる（よか視点）」ようになり、「好きな場所や身近な公園に行く（くらし視点）」スキルが高まることや、「やりたい活動を成し遂げるためにどうするか考える（しごと視点）」といった目的を達成するための過程を考えることが身に付くと考えられる。3つの視点の資質・能力が育まれることを願い、児童の主体性を支援していきたい。

## 2. 本単元と学習指導要領とのかかわり

### 生活科【1段階】

#### イ 安全

(ア) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすること。

#### エ 遊び

(ア) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとすること。

#### コ 社会の仕組みと公共施設

(イ) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつこと。

### 生活科【2段階】

#### イ 安全

(ア) 身近な生活の安全に関心をもち、教師の援助を求めながら、安全な生活に取り組もうとすること。

#### エ 遊び

(ア) 身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすること。

#### ケ きまり

(ア) 身近で簡単な決まりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとする事。

(イ) 簡単なきまりやマナーについて知ること。

### 生活科【3段階】

#### カ 役割

(ア) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすること。

(イ) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けること。

### 自立活動

#### 3 人間関係の形成

(1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。

(4) 集団への参加の基礎に関すること。

4 環境の把握

(5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。

6 コミュニケーション

(4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。

(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。

3. 単元の学習及び評価計画

※ 別紙に記載

<別紙資料>単元の学習及び評価計画（本時 6／6 ）

次	時	学習概要	評価計画			単元の目標の達成やこれからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）の育成に向けた手立て		
			【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
一	1 2 (5/21 5/28)	<b>自分で選んで遊ぼう！①</b> 好きな遊びができる場所を行き先を選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で活動を選択することを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で好きな遊びができる場所を考え、選択する。</li> <li>写真カードを貼ることや指さし・言葉などで、自分の考えを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いや願いに基づいて、意欲をもって、好きな遊びができる場所を選ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己決定・自己選択の場面の設定</li> <li>振り返り場面の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>注目させる</li> <li>互いの活動を見合う</li> <li>受容・表出の支援</li> <li>発表場面の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考・判断・表現の場面設定</li> <li>将来への繋がりを意識</li> </ul>
二	3 4 (6/3 6/17)	<b>自分で選んで遊ぼう！②</b> 自分のやりたい遊びを選び、遊びに応じた場所へ行く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>前庭（シャボン玉）</li> <li>体育館（かくれんぼ、鬼ごっこ、しっぽ取り）</li> <li>図書館（DVD、読書、ぬり絵、お絵かき）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな遊びに応じた場を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分でやりたい遊びを考え、選択する。</li> <li>写真カードを貼ることや指さし・言葉などで、自分の考えを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いや願いを明確にして、自信をもって、好きな遊びや場所を選ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己決定・自己選択の場面の設定</li> <li>振り返り場面の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>注目させる</li> <li>互いの活動を見合う</li> <li>受容・表出の支援</li> <li>発表場面の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考・判断・表現の場面設定</li> <li>将来への繋がりを意識</li> </ul>
三	5 6 (6/23 6/30)	<b>自分で選んで行こう！遊ぼう！</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>北美原公園（鬼ごっこ、すべり台、ブランコ、虫探し、はなつみなど）</li> <li>前庭（シャボン玉、ボール遊び、遊具、自転車など）</li> <li>図書館（DVD、読書、ぬり絵、お絵かきなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な遊びの場で安全に遊ぼうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が好きな遊びが何かを考え、遊びや行き先を選び、選んだ内容を友達や教師に伝える。</li> <li>一人で好きな遊びをしたり、同じ場にいる教師や友達とかかわりながら遊んだりする。</li> <li>きまりを守り、安全に移動しようとしていたり、活動しようとしていたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自信をもって自分の好きな遊びや行き先を選び、意欲的に活動に参加する。</li> <li>次にやりたい遊びや行きたい場所を考え期待感をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己選択・自己決定の場面の設定</li> <li>振り返り場面の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>注目させる</li> <li>互いの活動を見合う</li> <li>受容・表出の支援</li> <li>発表場面の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考・判断・表現の場面設定</li> <li>将来への繋がりを意識</li> </ul>

#### 4. 本時案

##### (1) 本時の目標 (全体)

- 【思考力, 判断力, 表現力等】 ・自分が好きな遊びが何かを考え, 遊びや行き先を選び, 選んだ内容を教師や友達に伝える。
- 【学びに向かう力, 人間性】 ・自ら好きな遊びや行き先を選び, 楽しく活動に参加する。

##### (2) 個別の実態と本時の目標

※ 別紙に記載

##### (3) 本時の学習展開

時間	児童の活動	指導及び支援	備考	評価の観点
10:30	○始めの挨拶をする。 ○本日の活動内容を知る。	・3組の児童を指名し, 挨拶を促す。 ・自分の好きな遊びを選び, 遊びができる場所へ行くことを伝える。	学習カード	
10:32	○自分のやりたい遊びや自分の興味のある活動が行える場所を, 教師と確認する。 ○自分のやりたい遊びや自分の興味ある活動が行える場所を考え, 教師に伝える。 ○自分のやりたい遊びや自分の興味ある活動が行える場所に顔写真を貼る。	・掲示板に遊びのイラストや場所の写真を提示する。 ・MTは全体の場で, 1~2名の児童にやりたい遊びや行きたい場所などを聞く。 ・STは, 全員のやりたい遊びや行きたい場所を会話や支援ツールを使い, 把握する。 ・1組: 会話での聞き取り ・a, f, c (T5) ・e, b (T4) 支援ツールでの選択 ・d (T9) ・2組: 会話での聞き取り ・g, j, k (T3) 支援ツールでの選択 ・i (T8), h (T6) ・3組: 会話での聞き取り ・m, q (T7) ・o, n (T2) 支援ツールでの選択 ・l (T7) ・カードは児童が貼る直前に渡す。 ・3組⇒1組⇒2組の順に, 前に出て, クラスごとにカードを貼るように促す。 ・教師が先に自分の配置をカードで示すことによって選択の手本を示す。	イラストカード 絵カード 写真カード 支援ツール	【思・判・表】【主】

<p>10:45</p>	<p>○メンバーを知る。</p> <p>○きまりを確認する。</p> <p>○リーダーや教師と一緒に整列する。</p> <p>○ホールから移動し、選んだ遊びができる活動場所へ向かう。</p> <p>○目的地についたら挨拶をして好きな遊びをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・d, h, iはT9, T6, T8が手元での支援ツールで選ぶように促す。決まったらT9, T6, T8がT1に伝え、T1が顔写真を貼るように促す。</li> <li>・掲示板に注目させ、同じ場所で遊ぶ児童や教師を伝えるために、掲示板に注目させ、メンバーの顔写真を見るように促す。</li> <li>・「歩く」「手をつなぐ」「並ぶ」の3つの約束を伝える。</li> <li>・担当教師がリーダーを指名し、整列を促す。 ①前庭（雨天：プレイルーム）：T3 ②学校図書館：T2 ③北美原公園（雨天：体育館）：T4, T8</li> <li>・きまりを守り、安全に移動できるよう配慮する。</li> <li>※各グループの活動進行は ①T3 ②T2 ③T4に依頼する。</li> <li>・各グループのリーダーに挨拶やメンバーへの言葉がけを促す。</li> <li>・教師が手本となって遊びを促す。</li> <li>・子どもたち同士のかかわりを促すように遊びの誘い方や関わり方の見本を示す。</li> <li>・終わりの時間を、タイマーで知らせる。</li> <li>・やりたい活動を要求することが難しい児童については、必要に応じて教師が手本を見せたり、カードで伝えたりできるようにする。</li> <li>※北美原公園 ・持ち物（帽子・水筒・タオル）などを準備する。</li> <li>・事前に公園へ行く際の約束を確認する（手をつなぐ・信号を確認する・交差点では左右を確認する）。</li> </ul>		<p>【思・判・表】</p>
<p>11:30</p>	<p>○各グループでの活動を終了し振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイマーが鳴ったら、片付けをするよう促す。</li> <li>・グループごとに振り返りを行う。</li> <li>・自分で選んだ遊びや場所で、楽しく活動できたか、どんな遊びをしたかななどを表現できるよう促す。</li> <li>・自分たちの活動の様子をタブレット端末の映像や写真を見て振り返る。</li> <li>・全体で集まることが難しい児童については、個々で振り返りを行う。</li> <li>※学校図書館 ・鑑賞した図書やぬりえ、折り紙などの作品</li> </ul>	<p>イラストカード タイマー</p>	<p>【思・判・表】【主】</p>

11:40	○終わりの挨拶をする。 ○教室に戻る。	を見て振り返る。 ・リーダーに挨拶するよう促す。 ・きまりを守り，安全に気を付けて，学校や教室まで移動するように促す。		
-------	------------------------	---	--	--

(4) 本時の評価

【思考・判断・表現】

- ・自分が好きな遊びが何かを考え，遊びや行き先を選び，選んだ内容を教師や友達に伝えていたか。

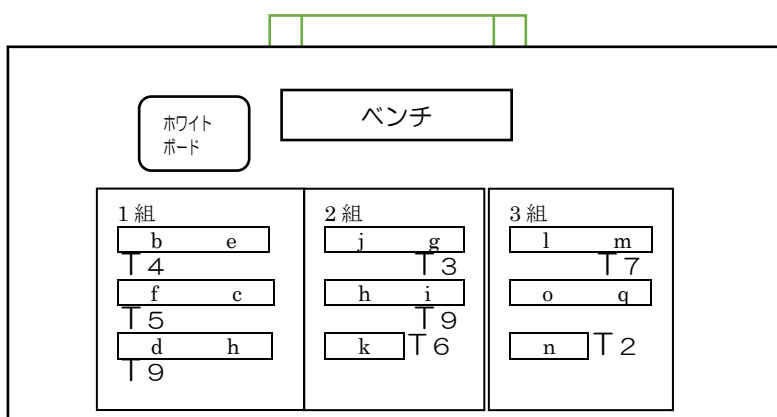
【主体的に学習に取り組む態度】

- ・自ら好きな遊びや行き先を選び，楽しく活動に参加していたか。

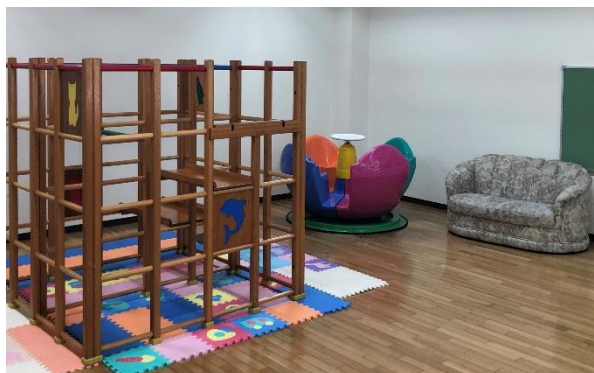
(5) 本時の個別の評価

※別紙に記載

5. 小学部ホール



プレイルーム



前庭



学校図書館



体育館





北美原公園



6. 資料及び板書計画

5月21日



場所 3つの場所の提示

5月28日



写真での遊びの提示



移動時のルール

6月 3日



イラストでの遊びの提示



遊びの選択ツール

6月30日



手元の選択ツール



北美原公園への移動のルール



<別紙資料>個別の実態と本時の目標・評価

評価基準 A：できた B：概ねできた C：できつつある

児童	観点	単元における実態	個別の目標	支援の方向性	観察できた行動（評価）	達成度	次時の支援の方向性
b 1年	【思・判・表】	目的地が分かることで、目的地まで、集団の一員としてついて行くことができる。	友達や教師と手を繋いで目的地まで移動する。	事前に、目的地や移動する際の約束をイラストと言葉で伝える。	同じ場所へ行く教師に、自分から「行こう」と声をかけ、手を繋いで移動することができた。	A	同じ目的地へ行く友達へも関心をもち、一緒に移動したり活動できるように、提示の方法や声かけの仕方を工夫していく。
	【主】	友達や教師の遊ぶ様子や、気になる遊びに興味関心をもつようになってきた。	自分で選んだ遊びをしたり、行った場所にあるもので遊んだりする。	選択していた遊びを伝えて確認したり、他にできる遊びに誘ってみたりする。また、紹介したりする。	選択時にやりたいこととして伝えていた、「しゃぼん玉」で遊び続けていた。	A	行ったことのない場所や経験したことのないもののある場を設定していく。
h 3年	【思・判・表】	提示された遊びや場所の中に自分が経験したことのある好みの遊びを見つけている。	自分が好きな遊びをイラストカードから選び取って教師にカードを渡して伝える。	好きな遊びを選ぶことができるように、遊びのイラストカードを5種類程度提示する。「〇〇（選んだ遊び）したいです」と教師にカードを渡して伝えることができるように、コミュニケーションカードを用意する。	提示されたカードの中からしゃぼん玉のイラストカードを選び、「シャボン玉 したいです」とコミュニケーションカードを教師に渡した。	A	他の単元においても本人が選択した内容を周りの人に伝えることができるようにカードなどを用意する。また、自分の意思を伝えることができた場合には、称賛し、強化していく。
	【主】	遊びの場では、選んだ遊び以外のもので遊んだり、教師を誘って一緒に遊んだりすることが多い。	自分から進んで自分で選んだ遊びで遊ぶ。また、遊んだ後に振り返りをする。	遊びを選ぶときに、じっくり考えることができる時間を確保する。振り返りのためのイラストカードを用意する。	自分が選んだしゃぼん玉で時間の初めから終わりまで遊んでいた。自分がシャボン玉で遊ぶ映像を見て指差しをしていた。振り返りのカードは使用していない。	B	選択の場面では、コミュニケーションカードを活用していく。また、本人に合ったコミュニケーションカードを工夫するなど、振り返りの方法を模索していく。
a 6年	【思・判・表】	自分で行きたい場所をあらかじめ考え、遊ぶ内容を決めている。	行きたい場所と選びたい内容を選択し、教師に言葉で伝える。	遊びたい内容の選択をする際に、どの場所で活動したいのかを聞き、言語化を促す。	行きたい場所や遊びたい内容を選び、「おにごっこする。」と教師に伝えた。	A	行きたい場所や、遊びたい内容だけでなく、感情表現等を、イラストを使って表現できるようにする。
	【主】	遊びたい内容を教師に伝え、自分から活動場所に移動する姿が見られる。	異学年の友達を意識しながら、友達に活動を促したり、片付けを行ったりする。	グループのリーダーという役割を与え、友達を意識してもらう機会を作る。	自分の所属するクラスと一緒に遊ぶ友達に声を掛け、活動場所に移動した。活動後の片付けは行うことができなかった。	B	他の活動場所や、活動内容においても、役割を意識できるように機会を設定する。

※【知・技】：【知識・技能】，【思・判・表】：【思考・判断・表現】，【主】：【主体的に学習に取り組む態度】

## くらすタイム（各教科等を合わせた指導）活動案

日 時	令和3年6月17日（木） 10：30～11：15
場 所	クラフトルーム及び中学部各教室
生 徒	中学部1年生，2年生，3年生 男子11名，女子7名 計18名
教 諭	T1 若山 大輔      T2 山下 小幸 T3 鈴木 美乃      T4 澤口 厚平 T5 林田 子竜      他3名

### 1. 単元について

(1) 単元名「きりのめ体育祭でGO！」～私たちのきりのめ体育祭を成功させよう～

#### (2) 生徒の実態

中学部は1年生6名，2年生6名，3年生6名の計18名で構成されており，知的障がいの他自閉スペクトラム症及びダウン症の生徒が在籍している。口頭での指示により行動することができる生徒もいるが，日常生活での言語理解については，生徒によって差がある。他者とのかわりについては，自分の気持ちを言葉で表現することが苦手であったり，相手の考えを受け入れられず自分の考えを主張してしまったりする様子が時折見られる。しかし，教師を介することで，自分の考えを整理して相手に伝えることができるようになってきている。言語の表出については，コミュニケーションボードや絵カード，文字カードを使用して表出する生徒もいるが，言葉でのやりとりができる生徒が多い。

本校の指導の形態の1つである「くらすタイム」では，①健康や安全，家庭生活等について関心を高め，体験的な活動を通して，基礎的な知識や技能の習得を図ること，②自分の役割を知り，目標の達成や課題の解決のために取り組むことを考え，実践する力を養うこと，③様々な人とのやりとりを通して，学校や家庭生活を楽しもうとする意欲や生活をよりよくしようと工夫する態度を養うことをねらいとして学習を行っている。

生徒の多くは「順番を待つ」，「役割を分担して行う」，「相手のことを考えて行動する」といった他者とのかわり方の基礎について学び，自分の役割を最後まで行うことについては身に付けてきている。一方，自分の行動の結果が相手にどのように伝わったり，役立ったりしているかを感じ取ることが難しい生徒もいる。

#### (3) 単元で取り扱う題材について

「くらすタイム」は「聞く，話す，書く」といった国語科的な内容，「社会参加と決まり」の社会科的な内容，「身近な消費生活」の家庭科的な内容などの複数の教科を合わせた指導の形態となっている。本単元は，体育祭に関連した係活動に着目し，生徒たちが主体的に活動し，仲間と共に協力して1つの行事を作り上げるということをねらいとすることから，特に「聞く，話す」の国語科，「社会参加と決まり」の社会科といった内容を重点的に取り入れている。

係活動の種類は「代表係」，「放送係」，「用具係」，「体育係」の4つである。係活動の利点としては，①役割が明確になり，生徒が目的意識をもって活動に取り組むことができる，②学年をまたいだメンバー構成により，普段かかわりの少ない生徒同士でも交流することができる，③係での活動内容を学級や学部全体で共有することで，自分の担当以外の係についても興味・関心をもつことができる等が挙げられる。

本題材では，「体育祭を成功させる」という目的に向けて，生徒たちが自分の役割が他者とのかわりの中でどのように活かされているかを知り，自分の考えを述べたり，相手の意見を聞いたりする経験を積み重ねていく。

#### (4) 資質・能力との関連及び教師の指導観

本単元は、話し合い活動と役割の練習を中心にして学習を進める。ここでは「生徒主体での活動を保障する」ことを大切にしたい。各係活動のなかで、生徒が考えた活動を取り入れるようにしていきたい。そのために、体育祭の目標設定や役割について学習したり、学級目標や過年度の取組の様子などをしおりや動画で提示することで自己決定したりすることができる場を設ける。生徒が自分の役割を理解し、話し合い活動に取り組むことができるよう、代表係、放送係、体育係、用具係を設定する。これらの各係が連携し、生徒一人一人が自分の役割を果たすことで、体育祭の成功に向けて意欲を高めるとともに、自分や他者のよさに気づき、仲間と協力して体育祭を作りあげることのよさを味わってほしいと考える。そして、これらの活動の成果を生徒自身が実感することで、今後の係活動、委員会活動を始めとした集団活動にも意欲的に取り組むことができるようになる。

また「お互いの活動を知る」ことも本単元では重要な目標の1つである。Zoomを使っでの学習場面の共有や係活動で話し合ったことを学級や学部全体に報告するといった情報のやりとりを通して、他者とのかかわりを意識し、自分の活動が体育祭全体の活動の一部として位置付けられていることを理解することができると考えている。

他の学習とのかかわりや地域との関連については、体育祭で表現する「いか踊り」を題材として各学習形態を関連させながら、学習活動を設定する。そして、それぞれの取り組みの成果を発表することが、地域への発信につながると考えている。「造形活動」ではいか踊りのお面やうちわの作成、「音楽活動」ではいか踊りの練習、「地域活動」や「チャレンジ学習」では案内状の作成などを行う。これらの活動を通して、今後の生活においても地域の祭りや催し物へ意欲的に参加したり、地域の人々とのかかわりを楽しんだりすることができるようになればと期待している。

## 2. 本単元と学習指導要領とのかかわり

国語科 1段階（内容） A聞くこと・話すこと

ア 身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えること。

社会科 1段階（内容） ア 社会参加ときまり

(ア) 社会参加するために必要な社会生活に関わる学習活動

⑦学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たす上での知識や技能を身に付けること。

自立活動

3人間関係の形成（4）集団への参加の基礎に関すること。

6コミュニケーション（2）言語の受容と表出に関すること。

（4）コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。

（5）状況に応じたコミュニケーションに関すること。

## 3. 単元の学習及び評価計画

※ 別紙に記載

<別紙資料>単元の学習及び評価計画（本時9／11）

次	時	学習概要	評価計画			単元の目標の達成やこれからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）の育成に向けた手立て		
			【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
一	① (5/28)	「きりのめ体育祭について知ろう」 (全体) 体育祭の日程や内容、係活動について知る。	体育祭の日時、日程、競技内容、係活動について知る。			動機付け 見通しをもたせる		
	② (5/28)	「きりのめ体育祭の目標を考えよう」 (各学級) 競技、系の個人目標及び学級での目標について考える。		競技や係活動にどのような目標で取り組むかを考える。 仲間と協力して学級の目標を決める。	体育祭の見通しを基に、目標を決める取組に意欲関心を示す。		受容・表出の支援 話し合い活動	思考・判断・表現の場面設定
二	③～④ (6/8)	「きりのめ体育祭の係活動について考えよう」 (各係) 各係の内容や役割を知り、系の仲間と協力して活動の準備をする。	係活動の内容について知り、準備や練習に取り組む。	系の役割について考え、具体的な活動を通して、自分の力を発揮したり、仲間の様子に注目したりする。	系の活動に興味関心をもち、仲間と意欲的に取り組む。	活動の明確化 学習目的の明確化	話し合い活動 役割分担 協力場面の設定	思考・判断・表現の場面設定
	⑤～⑥ (6/11)	「きりのめ体育祭を成功させよう1」 (各学級) 体育祭に向けて系の活動を報告し合い、家族への宣伝や体育祭を盛り上げる活動に学級の仲間と取り組む。	各係で決めたことについて報告し合い、体育祭を宣伝すること、「いか踊り」で盛り上げることを知る。	報告を基に競技のために仲間と協力し合うことに気付く。家族に体育祭について伝えたり、「いかおどり」で盛り上げたりする方法を考える。		見通しをもたせる	教師や仲間同士の対話	

	7~8 (6/16)	「きりのめ体育祭の準備をしよう」 (各係) 前回の取組を思い出して、各係が仲間と協力しながら必要な準備に取り組む。		係の活動を理解して、自分なりに工夫したり、仲間と協力したりして、体育祭の準備をする。	自分の役割に進んで取り組んだり、仲間と協力したりする。		チームで解決し合う場面設定	知識技能の定着・活用・応用・反復する機会
	9 (6/17) 本時	「きりのめ体育祭を成功させよう2」 (全体) 各係の成果を報告し合い、体育祭の成功に向けて、最後に必要な確認をする。		体育祭成功に向けて、各係の取組の成果に気づき、当日の予定や役割を確認する。			互いの活動を見合う発表場面の設定	
三	10~11 (6/22)	「きりのめ体育祭を振り返ろう」 (全体→係→学級) 体育祭での取組を振り返り、個人、学級、各係としての成果を確かめる。		体育祭を振り返り、目標を評価して、自分や仲間の良かった点について発表する。	体育祭での自他の評価の交流に進んで参加する。		話し合い活動	思考・判断・表現の場面設定

(別途資料)

※単元の目標

単元の目標		くらし	しごと	よか
知識及び技能	・体育祭の日程や内容、係活動を知り、見通しをもって活動する。 ・自分が担当する係の役割を知り、その活動に取り組む。	○	○	
思考・判断・表現	・担当する役割について理解して、自分の考えを仲間に伝える。 ・仲間が活動する様子や意見に注目したり、協力して活動したりする。	◎	○	
学びに向かう力・人間性	・活動内容を理解し、体育祭に向けて目的意識をもって取り組む。 ・お互いの役割を理解して、自ら進んで活動に取り組もうとする。	◎	○	

#### 4. 本時案

(1) 本時の目標

- 【思考・判断・表現】 ・体育祭成功に向けて、各係の取組の成果に気づき、当日の予定や役割を理解する。

(2) 個別の実態と本時の目標

※ 別紙に記載

(3) 本時の学習展開

時間	児童(生徒)の活動	指導及び支援	評価の観点
導入	各教室で待機する。 1 始めの挨拶 (代表係 q) 2 本時の活動内容の確認 (代表係 h) ① 活動内容の確認 ・各係からの活動報告。 ・体育祭当日の確認 ・目標の確認 ② 本時のめあての確認 (代表係 h) 「きりのめ体育祭の役割や日程を確認しよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表係及び T 1 T 2 はクラフトルームに集合する。</li> <li>T 2 は代表係 q の挨拶、代表係 f, h, q が進行するときに声掛けをする。</li> <li>Zoom, パワーポイントの操作は主に教師 (T 1) が行う。</li> <li>T 1 はモニター画面に①, ②を表示する。</li> <li>T 2 は代表係 h が本時のめあてを発表するときに声掛けを行う。</li> </ul>	
展開	<p>3 代表係の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 代表係 h は代表係を紹介する。</li> <li>② 代表係 q, f が挨拶の実演をする。</li> <li>③ 代表係 h がテーマ発表を実演する。</li> <li>④ 代表係で新聞での取組を紹介する。</li> <li>⑤ 代表係の活動に関するクイズに参加する。</li> <li>⑥ 代表係の活動を振り返り、感想を伝える。</li> </ul> <p>4 放送係の報告 (代表係 q は放送係に依頼する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 放送係 p は放送係を紹介する。</li> <li>② 放送係 p, j, d の順に団体種目でかける曲の紹介をする。</li> <li>③ 放送係 p, j, d の順に放送の実演をする。</li> <li>④ 放送係の活動に関するクイズに参加する。</li> <li>⑤ 放送係の活動を確認し、感想や質問を伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>T 2 は代表係 h が進行するときに声掛けをする。</li> <li>T 1 は係の顔写真や活動の写真等を表示する。</li> <li>T 1 は代表係にカメラに向かっての実演を指示する。</li> <li>T 2 は生徒の実態に応じ、どのように報告するかを示す。</li> <li>T 1 はクイズを出題する。番号、絵と文字で書かれた答えの選択肢を示す。</li> <li>T 1 は係の活動報告を評価し、他の係の生徒に感想を聞く。</li> <li>T 2 は代表係 q が進行するときに声掛けをする。</li> <li>T 1 は係の顔写真や活動の写真等を表示する。</li> <li>T 3 は放送係が各教室で紹介や実演するよう声掛けをする。</li> <li>学級担任は次の発表者をカメラ前に誘導し、T 3 は各教室に移動し声掛けをして発表を促す。</li> <li>T 1 はクイズを出題する。番号、絵と文字で書かれた答えの選択肢を示す。</li> <li>T 1 は係の活動報告を評価し、他の係の生徒に感想を聞く。</li> </ul>	<p>【思・判・表】</p> <p>【思・判・表】</p> <p>【思・判・表】</p>





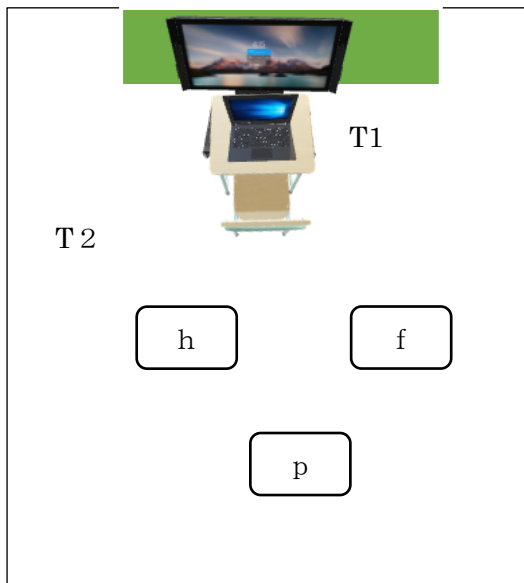
(4) 本時の評価  
【思考・判断・表現】 ・体育祭成功に向けて、各係の取組の成果に気づき、当日の予定や役割を理解したか。

(5) 本時の個別の評価

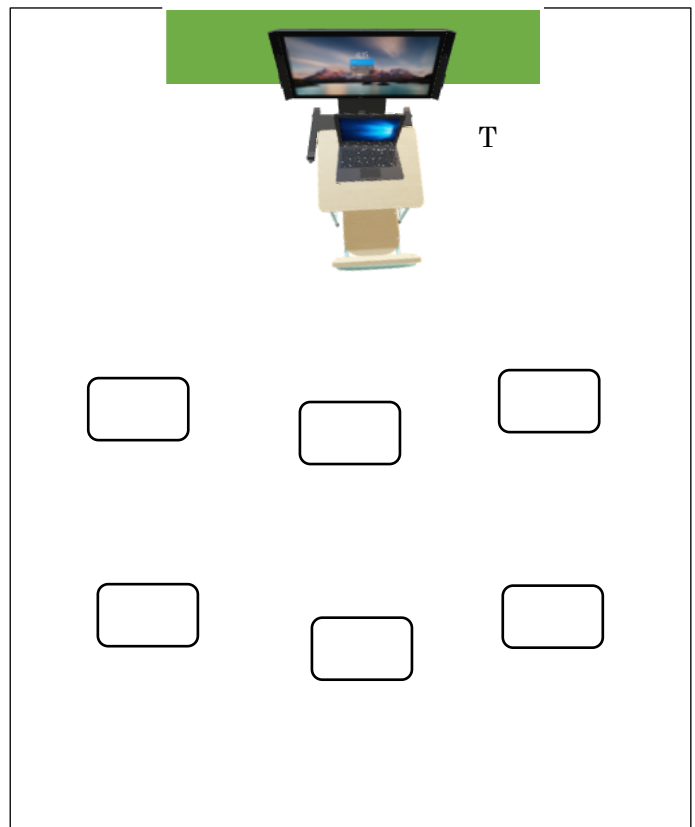
※ 別紙に記載

## 5. 教室配置図

クラフトルーム



中学部各教室



## 6. 資料及び板書計画

PP の授業の進行表

<別紙資料> 個別の実態と本時の目標・評価

評価基準 A：できた B：概ねできた C：できつつある

児童生徒	観点	単元における実態	個別の目標	支援の方向性	観察できた行動（評価）	達成度	次時の支援の方向性
a	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>きりのめ体育祭で自分や仲間が取り組む種目や係活動の内容について概ね理解し、目標をもって活動に参加している。</li> <li>きりのめ体育祭をつくるために各取組を係で分担していることを概ね理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各係の報告を聞いて、仲間のがんばり、取組のよさ、成果等に気付く。</li> <li>用具係として、応援で体育祭を盛り上げることを目指して、応援グッズを紹介したり、うちわを振って声援を送るよう呼びかけたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告の中で、よいと思ったところで拍手をしたり簡単な感想を話したりするよう促す。</li> <li>応援で盛り上げる雰囲気をつくり出せるような伝え方をするための言葉の選択肢を示したり、グッズを紹介する際の話し方を考える場を設けたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>係の報告で、事前に考えた体育祭を盛り上げてほしい旨の呼びかけをしたりうちわを振る様子を見せたりしていた。</li> <li>fが係の報告やあいさつをする際に「がんばってね」と伝えたり、fのがんばりを振り返りカードに記入したりしていた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の成果を実感できるよう、係の報告の様子を視聴する場を設けるとともに、仲間の活動を応援していた様子を取り上げて称賛し、今後も続けるよう促す。</li> </ul>
b	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択肢がいくつかあると、その中から好きな言葉を選んで、目標決めなどに参加することができる。</li> <li>自分の係活動を理解しており、事前に確認することで、役割を果たそうとする。</li> <li>他者の係活動内容については理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の係活動を理解し、クラスの仲間の前で、自信をもって発表する。</li> <li>クラスの友達が役割活動に取り組む姿を見て、がんばっていることが分かり、取組の様子を伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割活動の確認をしたり、どのように取り組みたいかなどを確認したりする。</li> <li>友達が活動する様子に注目するように促し、終了後に活動内容や活動の様子を教師の質問に答えながら振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の順番で、発表内容のメモを見ながら係活動の紹介や係のメンバーの紹介などをすることができた。自身の発表の場面では、曲に合わせていか踊りを大きな動きで発表することができた。</li> <li>画面に自身の姿が映ることを避けるため、教師の近くに来て、どのように言ったらよいのか確認していた。教師からいくつかの選択肢を提示された中で、うなずいて意思表示をしたり、伝え方を聞いたり、模倣してaの取組の様子について、発言していた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>係活動の報告時の様子や体育祭当日の係活動に取り組む様子（本児の場面のみ静止画）を視聴し、発表原稿の読み方やいか踊りの様子を具体的に称賛する。</li> </ul>
c	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>きりのめ体育祭で自分や仲間が取り組む種目や係活動の内容について概ね理解し、目標をもって活動に参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具係として、応援で盛り上げることができるよう、うちわを振るパフォーマンスを工夫しながら、応援グッズの紹介をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応援で盛り上げる方法を考えたり雰囲気をつくったりすることができるよう、うちわを大きく振る、小刻みに速く振るなどの紹介の仕方を提示し、選択を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>係の報告で、メモを見ながら応援グッズの制作へのお礼を述べたり、教師の促しを受けてうちわを小刻みに振る様子を見せたりしていた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の成果を実感できるよう、係の報告の様子を視聴する場を設ける。メモを見ながら落ちて報告したことや、パフォーマンスでうちわを振ったことを称賛する。</li> </ul>
d	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択肢がいくつかあるとキーワードを見て、好きな言葉を選ぶことができる。また、目標決めに関心をもって参加することができる。</li> <li>周りにモデルがあると、活動に取り組みやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体提示や個別提示を見て、アナウンス原稿を読むことが分かり、マイクに向かって原稿を読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>係活動の取り組み方をイメージできるよう、事前に同じ役割のメンバーと練習したり、練習している様子の動画を見たりする場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に教師と取り組む内容を確認し、Zoomでの呼びかけに対して、画面を見て反応し、タブレットに向かって、イラストを見せながら曲の紹介をしたり、アナウンス原稿を読んだりすることができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>係活動の報告時の様子や体育祭当日の係活動に取り組む様子などを視聴する場面を設定する。画面に向かって原稿を読むことができたことなどを称賛する。</li> </ul>

e	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>きりのめ体育祭で自分が取り組む種目や係活動について概ね理解している。</li> <li>活動の見通しをもったり、適度な休憩をはさんだりすると、活動を継続することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具係として、運搬を担当するものを判断し、実際に片付ける道具を使いながら用具運びの実演をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当日とほぼ同じ環境を整えた上で実演できるよう、運搬を担当する道具の写真カードや実物を用意し、運んだものを置く場所を明示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の促しを受けて、当日実際に運ぶ赤コーンを持って、写真で示した置き場まで運ぶことができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の成果に気付くことができるよう、体育祭当日に用具運びを行っていた様子を視聴する場を設け、取組の様子を称賛する。</li> </ul>
f	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択肢があると、その中から選んで、目標やスローガン決めに参加することができる。</li> <li>仲間や教師と一緒に係活動を遂行することに喜びを感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体提示を見たり、教師の話の聞いたりして、進行の役割を行うことが分かり、自信をもってあいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の係の名称や役割活動、どのように取り組むことができただかなどを、振り返られるように、選択肢を見たり、たずねたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇〇委員は誰ですか？などの質問に対して、自分の名前を言いながら手を挙げるができた。係活動について聞かれ、「頑張った。できた。」と発言する様子が見られた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>係活動の報告時の様子や体育祭当日の係活動に取り組む様子などを視聴する場面を設定し、どのように取り組むことができたかを視聴しながら具体的に称賛する。</li> </ul>
g	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭に意欲をもって取り組む様子が見られ、用具係で取り組む内容について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具係の活動で自分が用具を片付ける動画を見て、係の中の役割を理解する。</li> <li>日程や自分の役割を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分と学級の他の用具係の担当する用具の違いに注目するよう働きかける。</li> <li>当日使うスケジュールで日程や役割を提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が用具を運んでいる動画を視聴し、何を運ぶか答えられたが、時間が経ってからの問いかけには答えられなかった。</li> <li>日程や自分の役割を確認していた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭で種目や係で取り組んできたことについて、映像や教師の言葉をもとに具体的に振り返る。</li> </ul>
h	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭の目標設定に積極的に意見を出したり、係の具体的な活動を概ね理解したりしている。他の係の役割の大まかなイメージはあるが、具体的に伝えられない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表係として各係の紹介を進めることでその取り組みがわかり、当日の挨拶で仲間の様子を伝えることがわかる。</li> <li>日程や自分の役割を理解して自信をもって本番に備える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各係の活動成果にコメントをする機会を設けたり、気付いたか質問したりする。</li> <li>日程や役割について、振り返りで記入する場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の係についてコメントを求められた際はよかったとしか答えられず、振り返りでは、自己の発表についてのみ記入していた。個別に質問されたときには、皆が頑張ったことを答えていた。</li> <li>日程や役割を理解し、自信をもって本番に臨もうとしていた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な活動で他の生徒をよく見て、手助けしていることから、仲間への関心は高いので、他の係の評価にも進んで取り組むと思われる。各係の活動について具体的に思い浮かべることができるように、振り返りでの評価項目を提示する。</li> </ul>
i	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の担当する用具がわかり、称賛されることを励みに、意欲的に取り組むが、見通し違いや不安が生じると動けなくなってしまう。いか踊りには興味関心があり、意欲的に取り組む様子が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭を楽しくするために用具係が取り組んだいか踊りの道具の使い方を、みんなに伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で作った道具を示して、仲間に伝えるように促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いか踊りの道具の使い方を伝えるためにカメラの前に立ったが、実演することはできなかった。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が係での役割を果たしてきたことに気付けるように、取組を称賛する場を設ける。</li> </ul>
j	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭の日程や活動内容に見通しをもち、放送係はアナウンスを行うことを小学部の経験で理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の担当するアナウンスを実演することで、その役割を確認するとともに、学級の仲間の発表を見て他の役割にも興味を示す。</li> <li>日程や自分の役割を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>競技や仲間の役割を絵図や写真を示して、映像以外の視覚的な情報を提供して、理解を促す。</li> <li>日程表に自分の役割を書き込むようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の担当するアナウンスを実演することで、自分の役割を確認できたが、発表に注目することは難しかった。</li> <li>日程や自分の役割は理解していた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の役割に興味をもてるよう、振り返りで他の係の生徒の取組を視覚的に評価する。</li> </ul>
k	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級の目標を決めるときに進んでアイデアを出すなど意欲的に活動している。用具係で取り組む内容について理解している。他の係の役割には大まかなイメージはあるが、気付い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具係の活動内容を動画や実演を通して改めて確認し、その役割や成果に気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割や成果を、ヒントを示して答える場面を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具を運んでいる様子を動画で視聴したり、いか踊りの道具を身に付けて踊りを実演したりして、役割や成果を理解している様子が見られた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭の種目や係の取組の成果に気付けるように、映像を示したり振り返りをしたりする。</li> </ul>

		ていないところが多い。					
l	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人の目標は教師と一緒に設定し、練習に取り組んでいる。体育系の活動については、動画を見ながらラジオ体操に取り組んだり、応援の仕方を教師と一緒に確認して取り組んだりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育係で自分が行うことを確認し、応援の取り組み方を友達に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応援の仕方を教師と一緒に確認するとともに、必要に応じて動画で伝えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の動きを真似てうちわを動かす姿は見られた。仲間を意識して伝えることは難しかった。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が係での役割を果たしてきたことに気付けるように、取組を称賛する場を設ける。</li> </ul>
m	【思・判・表】	本単元…欠席					
n	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動への明確な見通しをもつことで、教師と一緒に活動することができる。</li> <li>絵カードや指差しでの意思表示ができる。</li> <li>体育祭に向けての目標を教師と一緒に選ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育係の取り組みについて自分の実演の動画やホワイトボードの表示を使って、相手に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育係での活動内容について、ホワイトボードやタブレットなどの視覚的教材を活用して伝える。</li> <li>本人が理解しやすいように、活動内容の写真やイラストを活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の出番のときに教師の促しに応じてホワイトボードをパソコンの画面に向かって見せ、発表することができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育係の取り組みや体育祭当日の様子を動画で視聴する場を設け、具体的に活動できた場面を称賛する。</li> </ul>
o	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の係の役割について理解できる。</li> <li>自分の役割について自分の言葉で表現することができる。</li> <li>体育祭に向けての役割を自分で考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具にあった運び方などを理解して、説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際の活動の様子を写した動画を用意する。</li> </ul>	当日…欠席。		
p	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の係の役割について理解できる。</li> <li>自分の役割について自分の言葉で表現することができる。</li> <li>体育祭に向けての目標を自分で考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送係の取り組んできた活動を声の大きさに気を付けて紹介、実演する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に話す時の留意点を文字で確認し、自分で意識して行うことができるよう支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送係の発表前に原稿を読む際の注意点を口頭で確認した。発表時には声の大きさや読む速さに気を付けて話すことができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送係の取り組みや体育祭当日の様子を動画で視聴する場を設け、声の大きさや話す速度など具体的にどのように取り組むことができたのかを振り返る。</li> </ul>
q	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の係の役割について理解できる。</li> <li>発音が不明瞭な所があるが、言葉の意味を理解して話すことができる。</li> <li>体育祭に向けての目標を教師と一緒に考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表係の挨拶の実演や新聞の紹介を、単語を区切りながらゆっくりと相手に伝わるように話そうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人が自分で意識できるように挨拶文や紹介文の区切る場所を視覚的に示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表係での活動の報告の際、単語を区切りながらゆっくりと話していた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表係の取組や体育祭当日の様子を動画で視聴する場を設け、挨拶などの話し方について具体的にどのように取り組むことができたのか振り返り、話の伝え方について提示する。</li> </ul>
r	【思・判・表】	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動への明確な見通しをもつことで、教師と一緒に活動することができる。</li> <li>コミュニケーションは一方的</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具係の取り組んできた活動内容について、作成した用具を使い教師と一緒に、相手に伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動内容を伝えられるよう、活動内容を視覚化し、実際に用具を使用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具を運んでいる動画を視聴することはできたが、教室での実演をすることはできなかった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育係の取組や体育祭当日の様子を動画で視聴する場を設け、具体的に活動できた場面を称賛する。</li> </ul>

		だが, 自分の意思を言葉で表現できる。 ・体育祭に向けての目標を教師と一緒に選ぶことができる。					
--	--	--	--	--	--	--	--

※【知・技】：【知識・技能】，【思・判・表】：【思考・判断・表現】，【主】：【主体的に学習に取り組む態度】

## 体育活動（各教科等を合わせた指導）活動案

日 時	令和3年6月18日（金曜日） 10：30～12：00
場 所	大会議室
生 徒	高等部・選択学習_スポーツ 男子8名 計8名
教 諭	T1 岩田 満 T2 早坂洋次郎 T3 山口 詠子 T4 山本やす代

### 1. 単元について

#### (1) 単元名「新しい体育祭を企画しよう」

#### (2) 生徒の実態

高等部生徒24名は、自分に合った余暇活動の充実や発展の観点から、「選択」の中で各々が年間を通して取り組みたい活動を選択し、「アート」・「スポーツ」・「ミュージック」の3つのグループに分かれて活動をしている。

「企画チーム」を担当するスポーツグループは、1年生3名、2年生3名、3年生2名で構成されている。普段の授業の中では、生徒2～3名の組み合わせで、大縄跳びを跳ぶ回数を相談しながら決定する場面を設定したり、自分から活動に取り組む順番を決定したりする場面等を設定している。自分の意思を表出したり、相手の意見を聞きながら折り合いをつけることができている生徒もいる一方で、自分の意思は表出できるものの、相手の立場を考えたり、折り合いをつけることに課題が見られる生徒もいる。スポーツグループでの活動中は、学年にかかわらず互いにかかわり合う様子や、生徒同士で声を掛け合いながら、動作についてアドバイスをしたり、積極的に運動を楽しもうとしたりする様子が見られる。

#### (3) 単元で取り扱う題材について

一昨年度までの体育祭は、全校小学部から高等部の学校行事として、予め決められた競技や流れを練習し、その成果を発表する場として行われていた。しかしながら、本年度から体育祭を学部単位で実施することになり、生徒の発想を生かせる学習の場として、位置づけた。

本単元では、3つの選択活動のグループを話し合いのグループにし、「企画・装飾・音響」チームに分かれて活動をする。「ディスタンス体育祭」を共通のキーワードとし、自分たちでアイデアを出し合いながら、既成の形にとらわれない「体育祭」を創り上げることを目標にしている。高等部の2、3年生の生徒は、昨年度高等部で取り組んだ「新しい形の販売会」の学習でも、各班に分かれて役割分担をしながら行事を企画・準備・運営し、他者を意識しながら、協力してねらいに沿った活動を考えたり、話し合ったりする経験がある。

また、「企画チーム」では、スローガンを考えたり、コロナ感染予防対策を取り入れた競技の企画・準備・改善を担当する。本グループの生徒は日頃の学習の中で、他の生徒より多くの競技を経験しており、それらを生かして「この競技のルールは分かりやすいので、みんなができるのではないか」「やり方を工夫すれば、安心・安全にできるのではないか」などのように、多くの選択肢の中から、実現可能な競技を考えることができることから、本題材を設定した。

#### (4) 資質・能力との関連及び教師の指導観

本単元では、「コロナ感染予防対策ができているか」「みんなで楽しくできるか」などの判断基準を明確にしなが、競技の企画・準備・改善を行う。感染対策という新たな視点で、グループの仲間と話し合ったり、実際にやってみたことを振り返ったりしながら、競技を見直し、工夫することで実現可能な競技にしていく中で、より安全で安心な体育祭を探求する学習を進めていく。

また、他のグループと役割分担をして1つの行事を作り上げることで、自信や達成感を育て、地域への発信にもつなげていきたい。

### 2. 本単元と学習指導要領とのかかわり

職業科 1段階〔内容〕 A職業生活 イ職業（イ）

㊦ 作業や実習における役割を踏まえて、自分成長や課題について考え表現すること。

国語科 1段階〔内容〕 A聞くこと・話すこと

イ 目的に応じて、話題を決め、集め材料を比較する等伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。

保健体育科 1段階〔内容〕 A体づくり運動

イ 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その課題のために方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。

1段階〔内容〕 I保健

イ 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。

情報科 1段階〔内容〕 Bコミュニケーションと情報デザイン イ

(イ) コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えること。

社会科 1段階〔内容〕 ア社会生活と決まり（ア）

イ 社会生活の中で情報を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現すること。

自立活動 3人間関係の形成 (4) 集団への参加の基礎に関すること

### 3. 単元の学習及び評価計画

※ 別紙に記載



<別紙資料>単元の学習及び評価計画

次	時	学習概要	評価計画			単元の目標の達成やこれからの函館で自分らしく生きるための資質・能力（くらし・しごと・よか）の育成に向けた手立て		
			【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
一	1, 2 (6/4)	「 <b>体育祭オリエンテーション</b> 」 体育祭の日時、チーム会議の場所、各チームのメンバー発表	体育祭の予定を知る。			興味関心を高める。 動機付け	場の共有	知識技能の定着
二	3~6 (6/11, 14)	「 <b>チーム会議①</b> 」 体育祭へ向けての話し合い スローガンや種目等の決定	体育祭の企画班の役割を知る。	教師の問いに対して自分の意見や考えを伝える。	安心・安全に活動できるコロナ対策を工夫する。	自己決定・自己選択の場面設定	考えの比較 教師や仲間同士の対話	思考・判断・表現の場面設定
三	7, 8 (6/17)	「 <b>体育祭練習①</b> 」 決定した種目内容の実施	ルールを守って競技に取り組む。		仲間と一緒に、楽しさを感じながら競技に参加する。	活動を明確化する。	互いの活動を見合う。 場の共有	知識技能の定着
四	9~12 (本時 6/18, 6/21)	「 <b>チーム会議②</b> 」 種目の実施方法の確認・修正		追加や変更の感染症対策箇所を見つけ、改善策を話し合う。	練習場面を振り返り、より安心・安全に活動できるようコロナ対策を工夫する。	振り返り場面の設定	話し合い活動 発表の場の設定 教師の助言	思考・判断・表現の場面設定
五	13~16 (6/22, 24)	「 <b>体育祭練習②</b> 」 改善・修正した内容で実施	ルールを守って競技に取り組む。		仲間と一緒に、楽しさを感じながら競技に参加する。	見通しをもたせる。 活動を明確化する。	互いの活動を見合う。 場の共有	知識技能の回復
六	17~19 (6/25)	「 <b>体育祭本番</b> 」 コロナ対策に努めた内容で実施	ルールを守って競技に取り組む。		仲間と一緒に、楽しさを感じながら競技に参加する。	満足感や達成感をもたせる。	互いの活動を見合う。 場の共有	知識技能の回復
七	20~25 (6/28, 7/1, 2)	「 <b>振り返り</b> 」 体育祭の振り返り 地域への発信	活動の成果を知る。	地域への発信方法として、どのようなものがあるかを考える。	他者を意識した分かりやすいまとめ方を工夫する。	振り返り場面の設定	互いの活動を見あう	地域資源の活用 他の学習場面への般化

#### 4. 本時案

(1) 本時の目標

- 【思考・判断・表現】 ・練習の様子を見て、改善すべき内容を考え、意見を伝える。  
 【学びに向かう力、人間性等】 ・実施した種目を振り返り、より安全に行うための方法を考え、工夫しようとする。

(2) 個別の実態と本時の目標

※ 別紙に記載

(3) 本時の学習展開

時間	児童(生徒)の活動	指導及び支援	評価の観点
10:30	1 始めの挨拶 2 本時の流れの確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をする生徒を指名する</li> <li>本時の流れを確認する。</li> </ul>	
10:35	3 体育祭練習 1 回目を振り返る ・話し合いをするポイントを確認する。 ①みんなができていないか。 ②コロナ対策ができていないか。 ③もっとよくするためには、どうするか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントを活用して、観点のポイントを確認する。</li> </ul>	【思・判・表】 【主体的】
10:40	4 種目ごとに振り返る (1)「持久走」について (2)「Mチャレンジ」について (3)「お題リレー」について ※「お題リレー」については、次時に話し合いの時間を設けることとする。  【活動のポイント】 ・競技のビデオを見て、改善ポイントを考える。 ・観点別に気が付いたことを、ワークシートに記入をする。 ・記入した内容を交流し、改善案を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現が難しい生徒がいた場合、必要に応じて一緒に考えたり、選択する項目を提示したりする。</li> <li>「よりよい体育祭」にすることを意識して、改善案を考えるように伝える。</li> <li>改善案が決まらないときには、出された意見から共通するキーワードを確認し、話し合いをするように伝える。</li> </ul>	
11:40	5 各グループで共有する ・代表者が企画チームでの話し合いの結果を伝える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表する生徒を指名し、発表内容を一緒に確認する。</li> </ul>	
11:55	6 振り返り ・自分の振り返り用紙に記入する。 ・次時の内容を伝える。  7 おわりのあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポートフォリオ用紙に自分が取り組んだことを記入するように伝える。</li> <li>挨拶をする生徒を指名する。</li> </ul>	

(4) 本時の評価

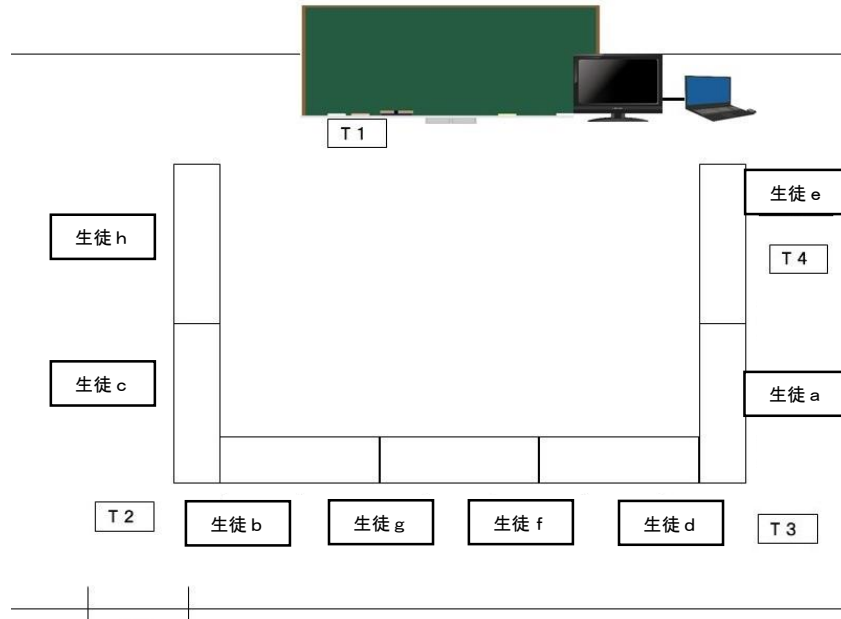
【思考・判断・表現】  
【主体的に学習に取り組む態度】

- ・練習の様子を見て、改善すべき内容を考えて、意見を伝えたか。
- ・実施した種目を振り返り、より安全に行うための方法を考えて、工夫しようとしたか。

(5) 本時の個別の評価

※ 別紙に記載

5. 教室配置図



6. 資料及び板書計画

【板書】

あいさつ 先生の話 種目を振り返る ①持久走 ②Mチャレンジ ③お題リレー Zoomで報告しよう ポートフォリオに記入する 先生の話 あいさつ	持久走	Mチャレンジ	お題リレー
--	-----	--------	-------

【ワークシート】

じきゅうどう かいぜん  
「持久走」の改善ポイント  
<ここをなおしたい・ここが気になった△>  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
<こんなふうに改善をすればいい◎>  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

かいぜん  
「Mチャレンジ」の改善ポイント  
<ここをなおしたい・ここが気になった△>  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
<こんなふうに改善をすればいい◎>  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

お題 かいぜん  
「お題リレー」の改善ポイント  
<ここをなおしたい・ここが気になった△>  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
<こんなふうに改善をすればいい◎>  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

<別紙資料>個別の実態と本時の目標・評価

評価基準 A：できた B：概ねできた C：できつつある

児童生徒	観点	単元における実態	個別の目標	支援の方向性	観察できた行動（評価）	達成度	次時の支援の方向性
a	【思・判・表】	感染症予防の観点から、種目に応じた対策を考え、ワークシートに記入したり、発表することができる。	追加の感染症予防対策が必要かどうか考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症予防のキーワードを教師と一緒に確認する。</li> <li>自分が考えた対策方法をワークシートに記入し、まとめるようにする。</li> </ul>	自分なりの考えをまとめようとしている様子が見られ、ワークシートに記入することができた。	A	ワークシートを工夫し、自分の考えに近いものを選択して、その理由を記入できるようにする。
	【主】	種目ごとに感染症予防のアイデアを考え、よりよい種目になるよう話し合いに参加することができる。	他の人の意見を参考にしながら、話し合いに参加する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コメントをする機会を設けたり、質問したりする。</li> </ul>	自分から話し合いに参加することは難しかったが、相手の様子を見て話し合いに参加する様子が見られた。	B	話し合いをするときの参加の仕方、発表の仕方を教師と一緒に確認してから、実施していくようにする。
b	【思・判・表】	感染症予防の観点から、種目に応じた対策を考え、積極的に発言したり、ワークシートや自分のメモ帳に記入することができる。	他の人の意見や考えを聞き、必要な感染症予防対策を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症予防のキーワードを確認する。</li> </ul>	事前に感染症予防のキーワードを確認することで、それを意識して意見を話すことができた。	A	自分の意見を話すときに、自分の考えや要点をまとめて発表する方法を確認する。
	【主】	種目ごとに感染症予防のアイデアを考えたり、他の人の意見を聞き、よりよい種目になるよう話し合いに参加することができる。	自分の意見と、他の人の考えや意見を比較し、よりよい種目になるよう改善点や新たな工夫を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見と他の人の意見の共通点、違う点を確認する。</li> </ul>	友達の意見を聞いた後に、「自分も同じような意見ですが…」と話をしながら自分の考えた改善点を話すことができた。	A	意見の違いを見てわかるように、ワークシートを活用する。
c	【思・判・表】	自分が普段行っている感染症予防の対策を考え、ワークシートへ記入することができる。	取り組んだ種目ごとに、追加の感染症予防対策が必要か考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症予防対策のポイントを教師と一緒に確認し、対策が行われているかを考える場面を設定する。</li> </ul>	感染症予防の必要性について発表することができていたが、改善点までは考えることができていない。	C	ワークシートを工夫して、自分の考えに近いものを選択できるようにする。
	【主】	自分の考えをワークシートに記入したり、発表することはできるが、他の人との話し合いに参加することは難しく、離席してしまう。	他の人の考えや意見を聞き、自分の感想を相手に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを発表する機会を設ける。</li> <li>質問するときには、ポイントを絞って質問するようにする。</li> </ul>	他の人の発表を聞いて、教師から感想を求められると、自分の考えを伝えることができていた。	B	継続して取り組み、自分の考えを発表する場面を設定していく。

※【知・技】：【知識・技能】、【思・判・表】：【思考・判断・表現】、【主】：【主体的に学習に取り組む態度】